

2014年7月1日(火)  
株式会社リクルートライフスタイル  
エイビーロード・リサーチ・センター

## エイビーロード AB-ROAD

### 2014年夏休みツアー問合せ概況

**オアフ島(ハワイ)が人気 No.1 の座を堅守。  
羽田就航・増便関連の旅行先が人気。  
問い合わせ数は昨年並み。日程はやや短期層が増加。**

エイビーロード・リサーチ・センター(株式会社リクルートライフスタイル内、センター長・沢登次彦)は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、カスタマーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2014年夏休み期間の海外旅行マーケットを考察いたしました。

#### <結果要約>

1. 夏休みツアー問い合わせ数(前年同時期比、以下、前年比)・・・P2  
→全国計で前年比100%。羽田発ツアーは前年比137%の大幅増加。
2. 夏休みの人気旅行先・・・P3  
→問い合わせ数は「オアフ島(ハワイ)」が、全体の10%を集めて首位。  
台北が躍進、他に羽田発関連ではアジアはシンガポール・セブ島(フィリピン)、  
ヨーロッパではパリ・ロンドンなどで問い合わせ数が増加。
3. 夏休みツアーの平均日数、出発・帰国希望日の集中状況・・・P4  
→3日以内、4日、5日の比率が上昇し、短期のツアーが人気。平均日数は6日間。  
→出発希望日は8月9日(土)、帰国希望日は8月16日(土)、17日(日)のシェアが高く、  
人気日への集中傾向は昨年よりも顕著。

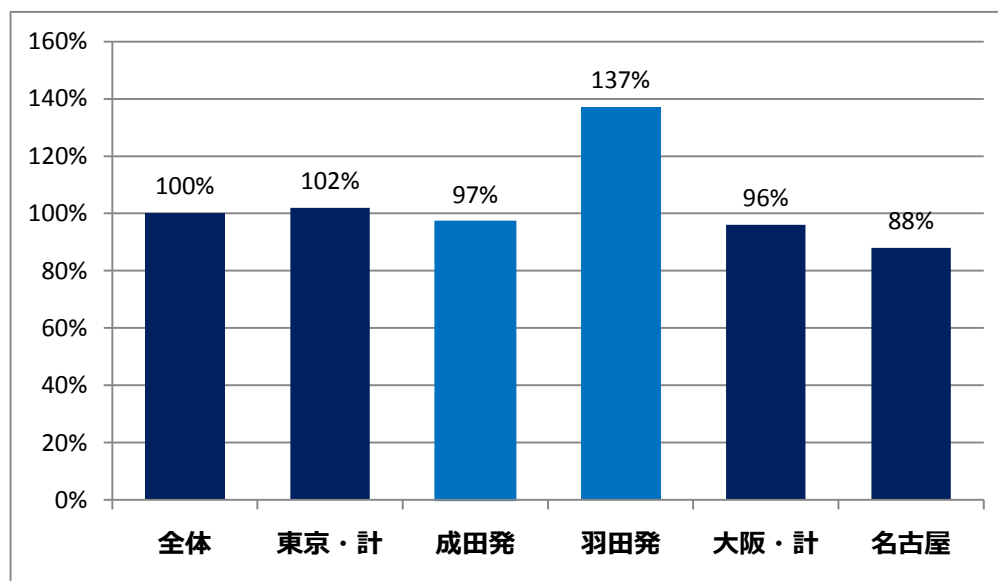
#### 【本件に関するお問い合わせ先】

<http://www.ab-road.net/frame/question.html>

## 1. 夏休みツアー問い合わせ数

2014年夏休み期間(7月19日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)の新規問い合わせ数(1月1日～6月15日までの問い合わせを集計)は、前年比(昨年の同期間)で全国計がちょうど100%。前年並みの問い合わせ経過となっている。主要出発地別では東京発海外ツアーの問い合わせ数が前年比102%と増加に転じた。羽田空港発の大幅増加が寄与した形となっており、ゴールデンウィーク同様、羽田就航・増便効果が見られる(データ1)。

### ■データ1: 2014夏休み期間の新規海外旅行問合せ数(前年比)



※1 全国計、各地発とも、前年問い合わせ実績を100%としたときの、2014年の問い合わせ実績を%で表示。東京発は成田発・羽田発の合計。大阪発は関空発・伊丹発の合計。全国計には、東京、大阪、名古屋以外の発地(福岡、札幌など)を含む。  
 ※2 夏休み期間の定義は、いずれの年も7月19日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。すべて同じ年の1月1日～6月15日までに発生した問い合わせを集計。  
 ※3「問い合わせ」: AB-ROAD カスタマーのメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値。

## 2. 夏休みツアーの人気旅行先

夏休み期間で最も人気の海外旅行先は、過去2年においても1位を獲得した「オアフ島(ハワイ)」。「台北」が問い合わせ数を伸ばして2位に上昇、3位は昨年2位の「パリ」、「グアム」は昨年同様で4位。「セブ島(フィリピン)」と「ロンドン」がトップ10入り(データ2)。方面別にみても、前年マイナス幅の大きかった「オセアニア」が復調傾向、また、羽田就航・増便効果が期待されるアジア、ビーチリゾートとヨーロッパはいずれも昨対プラスで推移している(データ3)。

### ■データ2： 2014 夏休み期間の問い合わせ\_旅行先シェア TOP10

順位	2014年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	10.1%
2	台北	4.2%
3	パリ	3.7%
4	グアム	3.4%
5	ローマ	2.8%
6	バルセロナ (スペイン)	2.7%
7	シンガポール	2.4%
8	セブ島 (フィリピン)	2.3%
9	ソウル	1.8%
10	ロンドン	1.6%

### (参考)2013 年、2012 年の夏休み期間の問い合わせ\_旅行先シェアTOP10

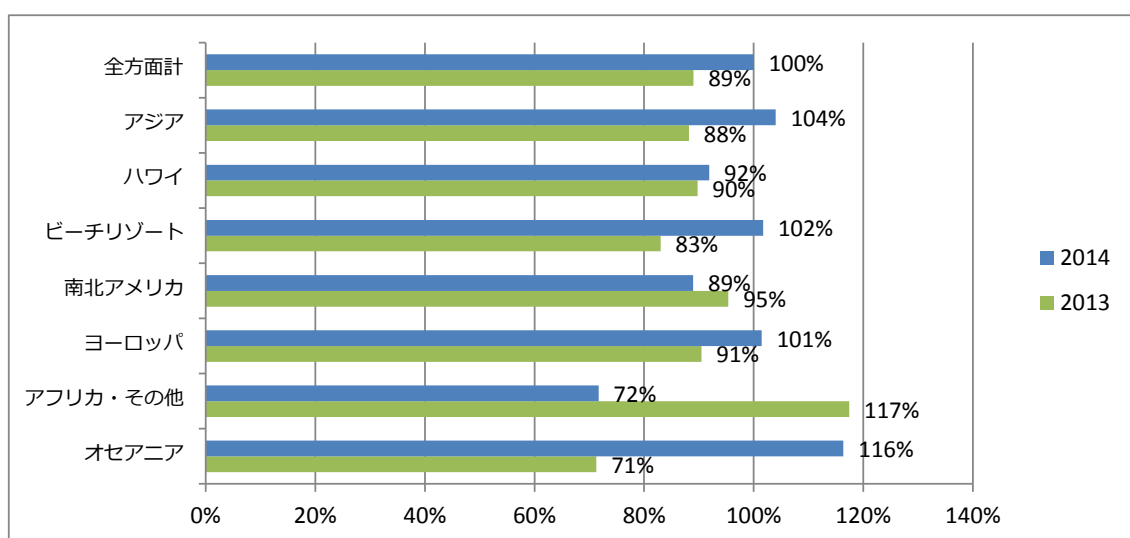
順位	2013年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	10.8%
2	パリ	3.5%
3	台北	3.0%
4	グアム	3.0%
5	バンコク	2.6%
6	バルセロナ (スペイン)	2.6%
7	ローマ	2.6%
8	ソウル	2.3%
9	シンガポール	1.9%
10	バリ島 (インドネシア)	1.9%

順位	2012年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	10.6%
2	ソウル	4.6%
3	パリ	3.9%
4	グアム	3.8%
5	ローマ	2.7%
6	イスタンブール (トルコ)	2.5%
7	バルセロナ (スペイン)	2.2%
8	バンコク	2.2%
9	台北	2.1%
10	カッパドキア (トルコ)	1.8%

※4 データ抽出の定義はデータ1※2と同様(以下同様)。

※5 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング。同率の場合は実数の上位を優先。

### ■データ3：夏休み期間中の問い合わせ\_エリア別前年比

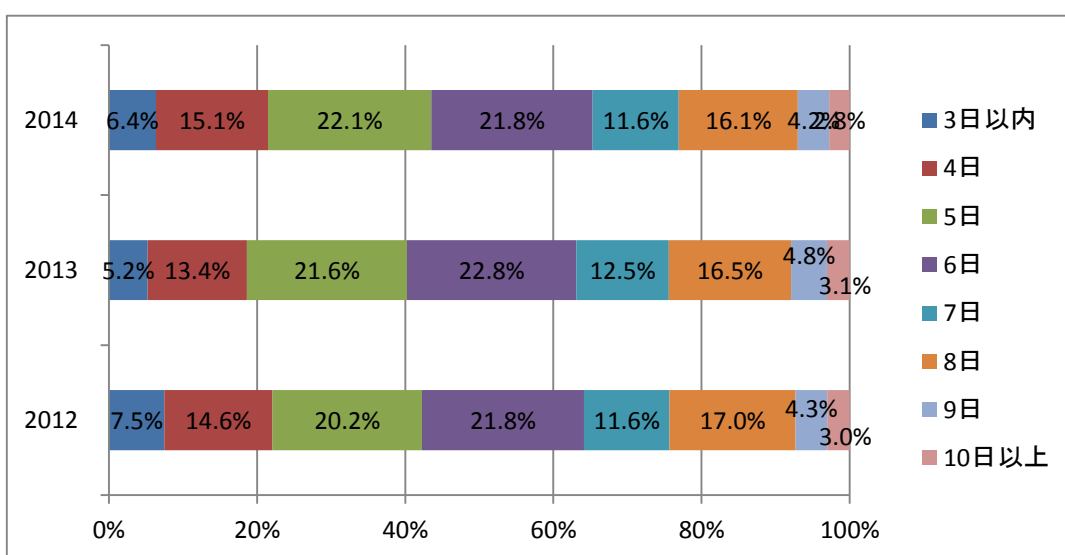


### 3. 夏休みツアーの日程、希望する出発日・帰国日

～「3日以内」「4日」「5日」が増加し、短期化傾向。平均日数は6.0日間～

ツアー日数に関しては、「5日」「6日」で全体の4割以上を占める。今年は最多が5日間であった。昨年までのシェアと比較すると、「3日以内」「4日」「5日」の短期間が増加し、「6日」以上のシェアがそれぞれ減少している(データ4)。平均旅行日数は2014年は6.0日(データ5)。出発希望日ピークはお盆休み前の土曜日である8月9日、帰国日はその翌週の8月16日(土)と8月17日(日)の希望が多い。帰国日については、前年のピーク日より問い合わせにおけるシェアが高くなっており、今年は特定の日にちに集中する傾向にありそうだ。

■データ4: 夏休みツアー問合せシェア\_日数別(2012～2014年比較)



■データ5: 夏休みツアー問い合わせ\_平均日数(2012～2014年比較)

年	2012	2013	2014
平均日数	6.0	6.1	6.0

■データ6: 夏休みツアー問い合わせシェア\_希望出発日・帰国日(日にち別、月別)

順位	希望した出発日	問い合わせシェア	順位	希望した帰国日	問い合わせシェア
1	8月9日(土)	6.5%	1	8月17日(日)	7.1%
2	8月13日(水)	5.9%	2	8月16日(土)	6.7%
3	8月8日(金)	4.2%	3	8月15日(金)	5.6%
4	7月19日(土)	4.0%	4	7月21日(祝月)	4.9%
5	8月10日(日)	3.8%	5	8月14日(木)	4.3%

**<解説・考察>**

羽田発が昨対 137%と問い合わせ数全体を引き上げ、全国計は昨年並に推移中。  
王道、ハワイは全体の 10%の問い合わせを集めて首位堅守。  
一方で、韓国、シンガポールに次ぐ近場の定番旅行先として、台湾が台頭。  
ベトナム各地も高い伸び率で、今後の人気旅行先として注目される。

2014 年の夏休みの問い合わせ実績は、前年比 100%、前年と同程度の旅行者数が見込める勢いで問い合わせが推移している。東京発が前年比 102%と昨対を超えたが、これはなかでも羽田発ツアーが昨対 137%となっており、羽田発の就航・増便影響が見られる。

旅行先のシェアトップはハワイのオアフ島で、一昨年、昨年に続いて問い合わせ全体の 10%以上を集めての首位獲得となった。平均旅行日数が比較的短期人気傾向に見られた今年の夏休みでも、ポリュウムゾーンの5、6日間で行ける行き先として支持が高いと言える。羽田増枠が寄与していると思われる旅行先としては、台北(問い合わせ数前年比 135%)、パリ(同 104%)、シンガポール(同 124%)、セブ島(フィリピン)(同 134%)、ロンドン(同 102%)、ホーチミン(ベトナム)(同 108%)、香港(同 141%)、ミュンヘン(同 121%)、ニャチャン(ベトナム)(同 179%)、ハノイ(ベトナム)(115%)、フランクフルト(同 123%)、バンクーバー(カナダ)(同 215%)などが好調。近隣アジアへの利便性が高まり、特に台湾やベトナムなどは、今後韓国や近年人気急上昇して定番の行き先となったシンガポールに次ぐ、定番の行き先となる可能性がある。また、香港も羽田効果があつてか、一昨年並みに問い合わせ数の回復が見られた。欧州でも同様に羽田就航・増便都市の問い合わせが伸びた。

日程では3日以内、4日、5日といった短期の旅行のシェアが増加、6日以上シェアが減少。今年はお盆希望日、帰国希望日共に人気の特定日の問い合わせシェアが上がっており、今年の特にお盆前後の土・日に人気集中している。夏休みツアーの予約の本格化はこれからだが、エイビーロードでは予約の直近化が進む状況下、人気日の予約は直近の問い合わせでは取りづらい状況が懸念される。